

大規模地震を想定し、防災体制の確保を図る ～防災（情報伝達）訓練～

信濃川河川事務所は、9月3日（水）に、地震・津波を想定した防災（情報伝達）訓練をおこないました。訓練は、新潟県北部沖を震源とするM7.6の地震が発生し、信濃川河川事務所管内においては、燕市が震度6弱、長岡市で震度5強を観測し、沿岸には大津波警報が発令されたとの想定でおこなわれました。

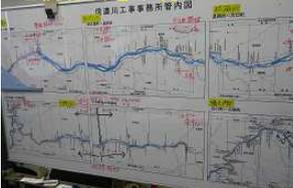
訓練を通じて、大規模な地震発生時の迅速かつ的確な初動体制の確認を行うと共に、情報収集・伝達・共有などの情報伝達手段の確認を行い、次期水害に備えました。



情報班

津波遡上の監視、気象情報の収集、市町村の被害状況を確認

巡視報告を集約



災害対策室大型表示版
CCTVカメラを活用し、津波遡上の監視と管内の被災状況を確認



災害班

被災状況報告、応急復旧工法の検討



管理班

施設に異常が無いか巡視・点検を指示



広報班

分かりやすい言葉で、情報発信



総務班

システムによる職員の安否確認



問い合わせ先：北陸地方整備局信濃川河川事務所

広報担当 専門官 小林 正夫（内線406）

TEL：0258-32-3020

FAX：0258-33-8168